

令和4年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園及びむつ市営薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業 有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町本町 80-94
指定期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	1. 旅行者及び住民の健康増進と保養の場の提供に関する事。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関する事。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関する事。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関する事。 5. 露天風呂の施設の提供に関する事。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	10,258	4,535	▲5,723
うち利用料金額	2,568	692	▲1,876
うち指定管理料	7,680	3,840	▲3,840
支出合計 (B)	10,258	4,572	▲5,686
うち人件費	3,180	1,522	▲1,658
収支差 (A-B)	0	▲37	▲37
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由	青森県内やむつ保健所管内において新型コロナウイルス感染者数が過去最多を記録するなど帰省等に及ぼす影響が大きかった。また大雨の影響により新しく開通した薬研佐井線が通行止めになり計画を下回った。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	レストハウス	5,000	4,120	▲880
	夫婦かっぱの湯	9,510	3,077	▲6,433
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)				
入浴するお客様が快適に入浴できるようにお風呂の温度管理を徹底し、源泉の流入量や必要に応じて加水するなどしました。またアブの発生時には注意喚起の貼り紙や天敵とされているオニヤンマの模型を創り数か所に吊るし効果は絶大であった。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
入浴ポイントカードの実施	13	0	0
バスタオル・湯あみ着貸出	114	37	0

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A (優 良) : 計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B (適 正) : 適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C (要改善) : 指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	A
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

今年度上期は、新型コロナウイルス感染者数が青森県内やむつ保健所管内において過去最多を記録するなど、観光及び帰省等に影響を及ぼした。また、大雨の影響により新しく開通した薬研佐井線が通行止めになり、当施設の夫婦かつばの湯の源泉ポンプも泥水の流入により休業となるなど当初の計画を下回った。しかしながら風呂の温度管理や施設の美化に努め、特にアブ対策として創った天敵のオニヤンマの模型や昨年作成した湯もみ板は来客から大変感心され従業員一同の励みとなっています。フェイスブックもリアルタイムで発信し好評を得ています。これからもお客様がいつ来ても安心して快適に過ごせるよう従業員一同笑顔で接客していきます。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

上期は昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、大雨による道路通行止めにより利用客数が伸び悩んだが、虫対策や温泉利用促進のための取組み、また日々の情報発信に写真を入れる等、利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めていた。

今後も引き続き、利用促進に向けた情報発信及び新型コロナウイルス感染予防対策を市と協力のもと実施していただきたい。